

公益財団法人軽井沢美術文化学院

2021 年度事業報告書

I. 美術館の運営

開催期間 2021 年 6 月 6 日(日)～11 月 3 日(水)

テーマ「文化学院 西村伊作の理想の学校 大正時代の先覚者たちの挑戦」

1. 企画展

西村伊作、与謝野晶子・寛、石井柏亭と河崎なつ、大正時代の先覚者たちが目指した芸術による高踏の人間教育を実践した理想の学校、文化学院の創立期とその成熟過程を紹介した。

第一室：(常設展) 西村伊作の生い立ち 伊作の思想をそだてたライフスタイルの紹介

第二室：文化学院の芸術教育 さまざまな斬新な試みの展示

環境 カリキュラム 行事 成果 (写真パネルや教材等を展示)

第三室：芸術教育プロジェクトをけん引した講師たち (写真パネルと作品を展示)

与謝野晶子・寛 河崎なつ 石井柏亭 赤城泰舒 佐藤春夫 山本蘭村 村井正誠

2. 美術館で下記のイベントを実施した。

◇ ローズフェスティバル 6月13日(土)～7月5日(日)

バラの見ごろの季節、カフェで一人 100 円の割引を行った。

◇ ギャラリートーク 8月28日

「人間教育の草分け」 元文化学院副校長 立花利根、元文化学院講師 大坪寛

◇ 秋のアートフェスティバル 10月10日

入館料は無料、子供達には「スケッチブックを配り、作品をカフェに展示した。

美術館への入館者数は新型コロナの影響による観光客の減少により、1369名と昨年より若干減、
一昨年よりは530名の減少であった。

3. ルヴァン美術館夏のコンサートはコロナ対策を十分に行った上6回行った。

- ① 8月1日 山口佳子 ソプラノコンサート
- ② 8月9日 近藤和花ピアノコンサート (第13回)
- ③ 8月14日 ボサノバ・サパトス/木村純・三四郎 (第17回)
- ④ 8月21日 寺田悦子・渡辺規久雄/四手連弾ピアノコンサート
- ⑤ 9月4日 J.C Acoustics ジャズ、ポップス、ラテンコンサート
- ⑥ 9月11日 戸室玄 ピアノリサイタル

II. アトリエ・ルヴァン (Atelier Le Vent) の運営

2020年はコロナ禍であり、木工教室しかワークショップは開催しなかったが本年は3回のワークショップを開催した。

- ☆ 木工教室 (講師：永島秀之) 8月12日から15日の間に16名の子供が参加
- ☆ 陶芸教室 (講師：森田高正) 第1回8月16,17日 15名の参加
第2回9月4, 5日 24名の参加
- ☆ ウィンターオーナメント作り (講師：大谷香) 10月9日 13名の参加

美術館、アトリエの貸し出し

アトリエの貸し出しはなかったが、美術館は休館中の5月に結婚披露、パーティの会場として、
11月には、個人の方のコンサート、展示会場として貸し出しを行った。

III. 宿泊施設の運営

美術館付属の宿泊設備はイベント講師や美術館のコンサート演者が主として使用され美術館訪問の一般の方の宿泊は少なく、8万5千円の売り上げであった。

IV. ショップ・カフェの運営

1. スタッフの人員効率をあげるため、美術館受付、ショップ、カフェへの配置、シフト計画を昨年引き続き東京事務所でい効率化を目指した結果カフェの大幅売り上げ増にもかかわらず、アルバイトスタッフの給与総額は前年並みに抑えることができた。前年に導入した新しいレジの運用、インターネットによるレジからの売り上げ明細報告など順調に行われた。

2. ショップは特に目玉になる商品がなく、前年より若干増加の96万円の売り上げにとどまった。

3. カフェは庭を見ながらオープンテラスで食事ができることに加え、味、価格ともに好評で多くのリピーターを獲得できた結果、昨年より156万円増加の532万円の売り上げを記録した。

結果ルヴァン美術館の公益、収益事業の売り上げ合計は過去最高の882万円となった。

V. 理事会、評議員会

2020年度の事業報告書、決算書および付属明細の承認、理事の改選、などの理事会、評議委員会はコロナ対策のため書面決議で行った。また、2022年度事業計画書、予算案の承認決議の理事会も3月に書面決議で子なった。

VI. その他

1. 引き続き感染症対策を行った。

2021年度もコロナ禍で長野県からも種々注意事項もあったが、美術館、カフェ、ショップすべて予定通り開館し、対策として美術館では検温、アルコール消毒、来館者（代表者）の氏名と連絡先の記載をもと

めた。カフェも昨年続きのテーブル数を減らして間隔を開け、美術館・カフェでの接客を行った。

2. 他の団体への寄付

国定重要文化財の指定を受けた新宮市の西村記念館の修復作業は 2019 年末に終了、2020 年春にリニューアルオープンした。西村伊作が建築した旧チャップマン邸も記念館に先立ち 2019 年春に修復を終え市の多目的施設として活用されている。両館については引き続き維持、保全のための寄付を各々10万円ずつ行った。

以上